

グリーンカーペットクラブ 今年の取り組み

東京国際映画祭(TIFF)は「グリーンカーペットクラブ」を創設し、当映画祭に関わる映画人、および映画を愛する人々によって、地球環境保全および持続可能な社会への活動を推進しています。そして未来を担う次の世代に、理想的な地球環境を残すために貢献しています。今年10月23日(土)～31日(日)に開催される第23回TIFFにおいても、昨年に引き続き、グリーンカーペットクラブはエコロジーをテーマとしたさまざまなグリーン活動に取り組んでまいります。

TIFF オフィシャルサイト GCC ページ:<http://www.tiff-jp.net/ja/gcc.html>

グリーンカーペットクラブの活動

①グリーン活動の促進：映画祭を通じた環境保護活動、社会貢献活動の実施

【グリーン電力の使用】

今年のTIFFでは、昨年同様、会期中の全上映の他に、記者会見や関連イベント等、全てをグリーン電力を使って開催いたします。昨年も、全上映に加えイベント等でもグリーン電力を使用した結果、約33tのCO2削減に寄与しました。これは一般家庭5,133世帯が一日に使用する電力量に相当します。

【グリーンカーペットの実施】

エコロジーをテーマとしたTIFFを象徴する「グリーンカーペット」は今年で3年目を迎えます。このグリーンカーペットは約23,000本のペットボトル(500ml)をリサイクルして制作されています。



ペットボトルから作られたグリーンカーペット (C)2009TIFF

【グリーン募金の実施】

会期を通じて募金箱の設置や、チャリティーオークションの実施により募金を募り、地球環境を守るために役立てています。なお、昨年集まった募金は、【緑の東京募金】(東京都環境局)、【木下の森】(社団法人日本マレーシア協会・キノシタグループ)、【ローソン「緑の募金」】(社団法人国土緑化推進機構)、【未来遺産運動】(社団法人日本ユネスコ協会連盟)にそれぞれ寄付されました。今年は更に積極的にグリーン募金の実施に取り組んでまいります。

②意識啓蒙の促進：映画祭を通じた環境保全への意識啓蒙活動の実施

【“TOYOTA Earth Grand Prix”の実施】

エコロジー、地球への関わり方、自然と人間との共生などをテーマに持つ作品の中から秀逸な作品に贈られる賞を設け、映画を通して環境の大切さへの関心を高めます。

【natural TIFFを通じた発信】

“エコロジー”のテーマに沿い、「自然と人間の共生」を根底のメッセージとして持つ作品を集めた部門[natural TIFF]。動物から自然まで様々な色合いの作品を上映します。

【TIFF アースカンファレンスの実施】

“環境”について、映画人や知識人が様々な角度からの提言を語るこの企画、昨年は田中律子さんとソトコト編集長の小黒一三氏による「生物多様性」を中心とした環境トークが行われました。今年も魅力あるカンファレンスの実施を検討しています。

【TIFF グリーンカーペットエリアの実施】

六本木ヒルズの大屋根プラザでは、スポンサー各社の環境への取り組みを展示する「TIFF グリーンカーペットエリア」を実施。楽しみながら環境への取り組みを学ぶことができます。

③ネットワーク構築の促進：環境への「気づき」の世界的ネットワーク構築活動の実施

第23回 TIFF では、2月のベルリン国際映画祭、3月の香港フィルマート、5月のカンヌ国際映画祭において、継続的に海外映画業界の方々とのネットワーキングの構築に努めてまいりました。その結果、グリーンカーペットの実施をはじめとした様々なグリーンカーペットクラブの活動は一定の評価を得てきております。今年も TIFF 会期中には、広く海外からゲストを招聘し、更なる世界的なネットワークの構築に努めてまいります。